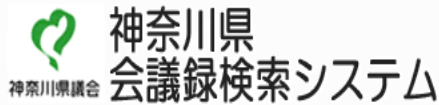


会議録検索システム（ウェブアクセシビリティ対応版）

1. トップページ



最新の本会議

開催年から閲覧する

最新の委員会一覧

平成30年 >

平成29年 >

平成28年 >

平成27年 >

平成26年 >

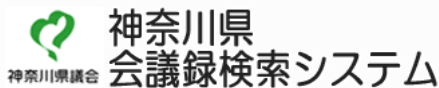
»もっと見る

▶平成30年 議会運営委員会

[県議会HP](#)
[神奈川県HP](#)
[問合せ先](#)

Copyright (c) Kanagawa Prefectural Government. All Rights Reserved.

2. 閲覧画面



平成29年

平成28年

平成27年

定例会

▶平成29年 第三回 定例会

▶平成29年 第二回 定例会

▶平成29年 第一回 定例会

委員会

▶平成29年 総務政策常任委員会

▶平成29年 防災警察常任委員会

▶平成29年 環境農政常任委員会

▶平成29年 厚生常任委員会

▶平成29年 議会運営委員会

»もっと見る

[県議会HP](#)
[神奈川県HP](#)
[問合せ先](#)

会議録検索システム（ウェブアクセシビリティ対応版）

3. 検索画面



神奈川県 会議録検索システム

[TOP](#) [閲覧](#) [検索](#) [設定](#)

対象年	全ての年
キーワード	ME-BYOサミット 完全一致 AND
発言者	議員 => 発言者を選ぶ
会議内容	<input checked="" type="checkbox"/> 目次 <input checked="" type="checkbox"/> 名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 議題 <input checked="" type="checkbox"/> 議長 <input checked="" type="checkbox"/> 質問 <input checked="" type="checkbox"/> 答弁 <input checked="" type="checkbox"/> 資料 <input checked="" type="checkbox"/> 一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 文書
会議種類	<input checked="" type="checkbox"/> 定例会 <input type="checkbox"/> 臨時会 <input type="checkbox"/> 委員会

検索結果 **9件ヒット**しました。

[平成29年](#) [平成27年](#)

[日付順](#) [ヒット順](#)

- ▶ 平成29年 第三回 定例会 12月01日-13号 (ヒット数: 4)
- ▶ 平成29年 第三回 定例会 11月29日-12号 (ヒット数: 1)
- ▶ 平成29年 第三回 定例会 09月25日-08号 (ヒット数: 1)
- ▶ 平成29年 第三回 定例会 09月12日-02号 (ヒット数: 2)

県議会HP 神奈川県HP

Copyright (c) Kanagawa Prefectural Government. All Rights Reserved.

4. 確認画面



神奈川県 会議録検索システム

[TOP](#) [閲覧](#) [検索](#) [設定](#)

神奈川県 平成29年 第三回 定例会 12月01日-13号

[戻る](#) [日程](#) [ヒットのみ](#) [前ヒット](#) [次ヒット](#) 全選択 全て閉じる [印刷](#)

次の時代を見据えた新たな課題について、どのように認識し、どのように対応していこうと考えているのか、知事の見解を伺います。

〔資料提示〕

次に、「ME-BYOサミット神奈川2017」の今後の展開について伺います。

本年10月20日、21日の2日間、2回目となる国際シンポジウムME-BYOサミット神奈川2017 in 箱根が開催されました。一昨年に開催された第1回目の国際シンポジウムでは、未病という言葉やコンセプトについての理解を深め、社会全体の共通認識として浸透を図っていくことに重点が置かれており、議論の成果として、未病サミット神奈川宣言を採択し、国内外に広くアピールするとともに、今後の取り組みの大きな方向性を示しました。

そして、これまで2年間、この宣言を受ける形で、県を初めとして多様な主体により未病コンセプトの普及や、未病改善に向けた商品やサービスの開発促進などの取り組みが進められ、国の健康・医療戦略に位置づけられるまでになりました。

今回のME-BYOサミットでは、健康に配慮して日常生活習慣を見直すといった行動変容の一層の促進を図るため、自分の現在の未病の状態や将来の疾病リスクを見える化する未病指標のあり方や、未病の改善を支える社会システムなどについて、最新の研究成果や事例が報告されるなど、非常に活発で内容的にも深い議論が行われたと承知しています。

そして、2日間にわたる議論の成果として、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年をターゲットとして、目指すべき未来社会の実現に向けて、多様な主体が一体となって行動していくための役割や行動目標を定めたME-BYO未来戦略ビジョンが採択されました。

今後は、子供から高齢者まであらゆる世代を対象に、目指すべき未来社会に向かって、県として具体的な道筋を立て、県民に理解されやすい形で着実に取り組んでいく必要があると考えます。

そこで、知事に伺います。

今回のME-BYOサミットでの成果を受け、今後、県としてどのように取り組んでいくのか伺います。